

ほっと ボランティア

企業による社会貢献

三菱電機株式会社中津川製作所 による自社製品の寄付

3月26日、三菱電機株式会社中津川製作所（総務部長 中村洋）様から三菱電機 S O C I O - R O O T S （ソシオールツ）基金を通じて、液晶テレビや冷蔵庫などの自社家電製品5点を4月から当会が開設した「中津川市障がい者就労支援事業所つち」へ寄贈いただきました。

三菱電機株式会社では、「技術、サービス、創造力の向上を図り、活力とゆとりある社会の実現に貢献する」という企業理念に基づき、社会貢献活動を行っており、その活動の一つとして1992年から毎年「マッチングギフト制度」を導入し、地域の福祉施設への家電製品などの寄贈を行っています。



▲温かいご寄付をありがとうございました

ませてこねて楽しんだ！

中津高校生徒による

「小麦粉ねんどであそぼう」

3月24日、にぎわいプラザで中津高校家庭クラブの生徒11人が幼児を対象に『小麦粉ねんどであそぼう』というイベントを行い、24人の親子が参加しました。このイベントは中津高等学校家庭クラブの生徒の企画により毎年開催されています。

幼児と遊ぶ計画をする際「小麦粉の粘土なら間違っても口にいられてしまっても安心」ということで行われました。

企画した生徒は「普段子どもと関わる機会がないので、一緒に遊べてとても楽しかった。今後は他のボランティアに参加してみたい」と感想を述べました。



▲子どもたちは柔らかな粘土の手触りに大喜びでした

23年間の活動に幕

ふれあい電話の会が活動を終えました

3月26日、社協登録ボランティア『ふれあい電話の会』が23年間の歴史に幕を閉じました。

ふれあい電話の会は、平成元年に健康推進員の任期を終えた方々が『何かの形で福祉の活動を続けたい』と、ひとり暮らしの方を対象に電話での話相手の活動を始められました。

最初は余計なことをしているのではないかと、戸惑いや不安を抱えて始めた活動でしたが、馴染みになるにつれて電話を心待ちにしてくださったり、喜んでくださる反応にやりがいを感じるようになり、23年間もの長い活動となりました。

近年、高齢者福祉サービスが充実したことやプライバシーの保護が厳しくなり、新しく活動を広げることが難しくなったことなど、時代の流れの変化に伴い23年間の活動に幕を閉じることとなりました。

ひとりで暮らしてみえる高齢者の方々にとって、ボランティアさんとの会話に花を咲かせた時間はきっと楽しい時間だったに違いありません。

ふれあい電話のみなさんは「ボランティアというものの自分たちの方が学ぶことが多かったよいうな気がする。沢山の元気をいただいで、楽しかった」と話されました。



▲長年の活動お疲れ様でした

いんぽんていあがんぱろう中津川！ 災害ボランティア養成講座 開催

3月3日、市健康福祉会館で「災害ボランティア養成講座」（後援：中津川市・中津川市防災市民会議）を開催し、市民131人が参加されました。

この養成講座は、東日本大震災でのボランティア活動の事例発表をもとに、今後、中津川市で大きな災害が起こった時に、一人ひとりの立場で何ができるかを考える機会をつくることを目的に開催しました。

開会に先立ち、参加者全員で黙とうをささげました。その後、市防災安全課から石巻市への市民ボランティア派遣などの被災地への救援活動の取り組みについて報告がありました。



パネルディスカッションの様子。熱い報告に皆さん聞き入っていました!!



続いてパネルディスカッションでは、恵那市在住の防災士 岩井慶次氏をコーディネーターに、パネリストには、個人ボランティアとして被災地に入り現在も被災犬の支援を続けてみえる見城隆夫氏、全国規模の組織力を活かして支援活動にあたった中津川青年会議所直前理事長三尾泰一郎氏、お世話になった方への恩返しをしたいという思いから活動に参加した中京学院大学経営学部3年生 會婉珍氏の3人を迎え、被災地の災害ボランティア活動や中津川市での災害への備えについて、それぞれの立場から意見を発言いただきました。

また、「もし中津川市で災害が起こったら」というテーマについても話し合いました。その中で、「ボランティア活動では力を合わせることの大切さを痛感した」など意見が出されました。



被災犬のナナちゃんが募金活動を行いました!

参加された方からのアンケートでは、「普段からの備えの大切さがよく分かった」などの意見がありました。



最後に「こころはひとつ!! がんばろう中津川」と力強く唱和しました

つながる・ひろがる
ボランティア団体
紹介コーナー

「チエーン・オブ・サバイバル・ネットワーク中津川」(C・Sネットワーク)

(発足H14・4 会員数26人)

私たちは応急手当指導員・普及員の集まりです。応急手当を広めたい、そして救急車が来るまでにチエーンのように大切な人の命を繋げていきたい、そんな思いで「C・Sネットワーク中津川」ができました。中津川市健康福祉まつり、やさか福祉健康まつりなどや各地域で行われる応急手当講習で、オレンジ色のベストを着て活動しています。気軽に声をかけてください。



福祉ボランティアに関することは
社協地域福祉課にお気軽に
ご連絡ください

066-11111 (内線888)

